

平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート

②

分科会名	総務分科会
------	-------

NO.	予算科目	事業名
1	一般会計	事務機器管理事務

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別 評価数
(1)市民ニーズ <b>評価の視点</b> フローチャートあるいは、それに類するものがあるか。	①きわめてニーズが高い(25点)	1
	②ニーズが高い(20点)	
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	3
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	1
	⑤ニーズが低い(5点)	1
	⑥ニーズがない(0点)	1
(2)市が行う必要性 <b>評価の視点</b> 出先機関を含めた全庁的な一元管理になっているか。	①きわめて必要性が高い(25点)	2
	②必要性が高い(20点)	
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	3
	⑤必要性が低い(5点)	
	⑥必要性がない(0点)	1
(3)費用に見合った効果 <b>評価の視点</b> コストダウンに対する意識は十分か	①きわめて効果的である(25点)	1
	②効果的である(20点)	
	③どちらかといえば効果的である(15点)	3
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	3
	⑤効果が少ない(5点)	
	⑥効果がない(0点)	
(4)目標の達成状況 <b>評価の視点</b> フローチャート等に基づいた管理がなされているか。	①きわめて成果がある(25点)	
	②成果がある(20点)	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2
	④どちらかといえば成果がない(10点)	3
	⑤成果が少ない(5点)	1
	⑥成果がない(0点)	1

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数をそのまま転記したもの

分科会評価

2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
10	事務機器管理においてフローチャートあるいはそれに類するものが、市民が必要と思っているレベルにあるかどうかを考えた場合、そのレベルにはまだ行っていないと思われる。
10	出先機関を含めて執行部が使用している機器すべてが、一元管理されていない。各部署での管理にまかされている。
10	全庁的な観点で、コストダウンを考えるべき。学校を含め、出先機関を含めて管理すべきである。
10	全庁的な事務機器の管理を考えた場合、フローチャートに基づく一元管理が望まれるが、そのレベルには行きついていない。

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

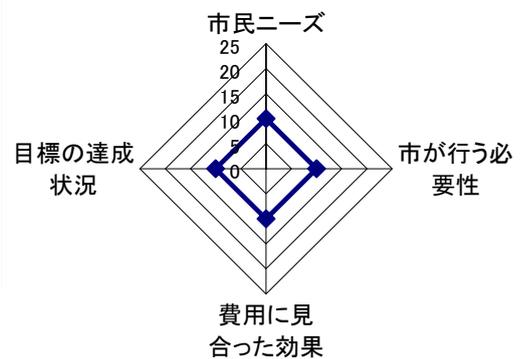
※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

分科会レーダーチャート

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
3	6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である
1	1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記

事務機器の管理とは、機器の購入から、メンテナンス、そして廃棄処分までを含めての管理が行われていなければならない。その一連のプロセスを定めたものが”フローチャート”であり、その中でチェックポイントを設けて、コストの管理・ハードのメンテナンスが行われるべきである。



分科会提案

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)
5 5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する	現在の市の管理状況を調べると、フローチャートはなく一元管理が行われてなく、購入コスト・メンテナンスコストばかりでなく、管理方法を含めて、まだ改善余地はある。
予算	
2 3 拡充する 2 継続する 1 縮小する	

課題と反省

事業評価をする場合に予算額(支出額)の増減に目が行きがちであるが、総務分科会が本事業を評価するにあたり注目したのは、「効果の拡充」である。コスト削減ばかりでなく、予算額(支出額)は変更することなく、業務のプロセスを検証することも、事業評価の重点事項の一つである。そういう意味において、本事業も「フローチャート」という手段を取り入れることによって、より効果的な管理ができる。

平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート

②

分科会名	総務分科会
------	-------

NO.	予算科目	事業名
2	一般会計	庁内ネットワーク運営管理事務

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別 評価数
(1)市民ニーズ <b>評価の視点</b> フローチャートあるいは、それに類するものがあるか。	①きわめてニーズが高い(25点)	2
	②ニーズが高い(20点)	2
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	1
	⑤ニーズが低い(5点)	1
	⑥ニーズがない(0点)	1
(2)市が行う必要性 <b>評価の視点</b> 出先機関を含めた全庁的な一元管理になっているか。	①きわめて必要性が高い(25点)	3
	②必要性が高い(20点)	1
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	1
	⑤必要性が低い(5点)	
	⑥必要性がない(0点)	1
(3)費用に見合った効果 <b>評価の視点</b> コストダウンに対する意識は十分か。	①きわめて効果的である(25点)	1
	②効果的である(20点)	2
	③どちらかといえば効果的である(15点)	3
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	1
	⑤効果が少ない(5点)	
	⑥効果がない(0点)	
(4)目標の達成状況 <b>評価の視点</b> フローチャートに基づいた管理がなされているか。	①きわめて成果がある(25点)	
	②成果がある(20点)	3
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1
	⑤成果が少ない(5点)	1
	⑥成果がない(0点)	1

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
4	元々事務機器としてのプリンターのコストダウンを検証する狙いで事務事業評価の対象にしたが、庁内ネットワーク運営管理では対象範囲が広すぎる。また、庁内ネットワークはしっかり管理しないと運用できないシステムでもあり、そのために専門部署も設けてある。
1	

分科会提案

4 今後この事業に対する提案

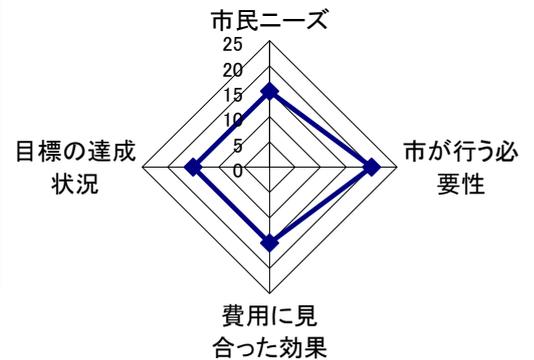
提案	理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)
3	10月からのマイナンバー制のスタートにあたり、個人情報がさまざまな業務にリンクされ、庁内ネットワーク運営管理事務がより重要な位置づけとなった。個人情報が漏れることがないように十分に配慮して運営されることを望む。
予算	
2	

2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
15	フローチャート管理ではないがそれに類するもので管理されている。
20	ネットワークシステムとして、全体管理がなされている。
15	ネットワークとしてはコストダウンを図られているが、システム(ソフトウェア)については、当初導入時は、コストダウン意識が高いと思われるが、その後の例年処理・改修等においてはどうか不明である。
15	全庁的なネットワーク関連機器の管理を考えた場合、フローチャートに基づく一元管理が望まれる。

※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

分科会レーダーチャート



課題と反省

庁内ネットワーク運営管理事務全体を対象にすべきでなく、ネットワークシステムの一業務を対象にすべきであった。

平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート

②

分科会名	総務分科会
------	-------

NO.	予算科目	事業名
3	一般会計	土地開発基金運用事務

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別 評価数
(1)市民ニーズ <b>評価の視点</b> 今後もこの基金の必要性はあるか。	①きわめてニーズが高い(25点)	5 2
	②ニーズが高い(20点)	
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	
	⑤ニーズが低い(5点)	
	⑥ニーズがない(0点)	
(2)市が行う必要性 <b>評価の視点</b> 国等からの補助金の取得のために基金が必要か代替案はないか。	①きわめて必要性が高い(25点)	1 5 1
	②必要性が高い(20点)	
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	
	⑤必要性が低い(5点)	
	⑥必要性がない(0点)	
(3)費用に見合った効果 <b>評価の視点</b> 現金と土地を含めた資産が眠ってはいないか。	①きわめて効果的である(25点)	1 6
	②効果的である(20点)	
	③どちらかといえば効果的である(15点)	
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	
	⑤効果が少ない(5点)	
	⑥効果がない(0点)	
(4)目標の達成状況 <b>評価の視点</b> 具体的な建設計画に基づいて基金が使われているか。	①きわめて成果がある(25点)	5 2
	②成果がある(20点)	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	
	④どちらかといえば成果がない(10点)	
	⑤成果が少ない(5点)	
	⑥成果がない(0点)	

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数をもとに転記したもの

2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
5 ○	昭和45年に施行されているが、当時は環境(地価の高騰)が変化しているため必要ないと思われる。また、都市計画決定路線の中に、中止予定となった路線もあり必要性がなくなった。
5 ○	実際に基金を廃止している自治体も出始めており、基金を廃止した上での補助金取得の方法もあるのではない。
5 ○	基金資産の土地の中には、中止予定となった計画道路用に先行取得された“含み損”を抱える土地も含まれており、管理がずさんと指摘されても仕方がない状況にある。
5 ○	道路建設と基金を使用しての土地取得の時期がズれており、土地価格が下落した場合には、含み損を基金内に抱えることになり、大きなリスクがある。

※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

分科会評価

3 分科会評価

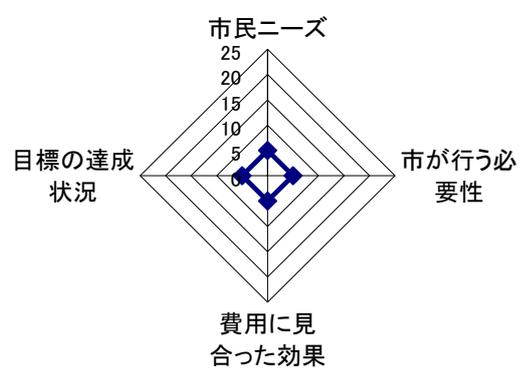
評価	分科会の評価理由
2 6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である	土地の値段が上がり続ける前提にあっては、先行取得のメリットは大きい、現在はそのような状況にない。また、基金を前提にしなければ国からの補助金が得られないという意見もあるが、実際に基金を廃止している自治体もあり代替案はあるように思われる。総じて、議会における議決を省いてまで先行取得を行う意義は薄く、廃止を検討すべきである。平成13年の通達では、「事業認可を受け事業を実施している工区に有る土地の先行取得が該当で、5年以内に工事を実施したものが補助対象にする」とあり、現在取得している全てが補助対象外となる。
1 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記	

分科会提案

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)
1 5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する	パブル期に、土地開発が活発に行われ、土地価格が高騰している時期には、迅速な土地の取得が必要であり、多くの自治体が基金を創設したものと思われる。しかし、現在のように土地の価格が落ち着き、あるいは下落している状況にあっては、含み損を抱えるリスクも増え、得策ではない。また、議会の議決をなくして取得できる点も、透明性の欠如という観点から問題である。
予算	
1 3 拡充する 2 継続する 1 縮小する	

分科会レーダーチャート



課題と反省

都市計画中止の予定となった道路に関して、先行取得した土地の処分をどうしていくのか。また、生じた含み損をどう総括するか。

# 平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート ②

分科会名	都市経済分科会
------	---------

NO.	予算科目	事業名
4	一般会計	自転車駐車場維持管理事業

### 1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別評価数
<b>(1) 市民ニーズ</b> <b>評価の視点</b> 新守谷駅利用者にとって、1120台以上駐車できる、有料(管理人委託)の駐車場の必要性	①きわめてニーズが高い(25点)	
	②ニーズが高い(20点)	
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	2
	⑤ニーズが低い(5点)	5
	⑥ニーズがない(0点)	
<b>(2) 市が行う必要性</b> <b>評価の視点</b> 駅周辺に自転車駐車場を整備し、良好な生活環境を整える	①きわめて必要性が高い(25点)	
	②必要性が高い(20点)	2
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	3
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	2
	⑤必要性が低い(5点)	
	⑥必要性がない(0点)	
<b>(3) 費用に見合った効果</b> <b>評価の視点</b> 放置自転車を減らし、良好な生活環境に寄与しているが、利用率25%年間400万円の赤字運営	①きわめて効果的である(25点)	
	②効果的である(20点)	
	③どちらかといえば効果的である(15点)	
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	
	⑤効果が少ない(5点)	6
	⑥効果がない(0点)	1
<b>(4) 目標の達成状況</b> <b>評価の視点</b> 現在の利用率、今後の利用者の増加の見通しも乏しく、施設の老朽化による利用者への対策	①きわめて成果がある(25点)	
	②成果がある(20点)	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	
	④どちらかといえば成果がない(10点)	2
	⑤成果が少ない(5点)	5
	⑥成果がない(0点)	

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

### 3 分科会評価

評価	評価理由	分科会の評価理由
3	6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である	利用率も25%と低く今後増加する見込みもなく、毎年400万円の赤字経営であり、委託料や修繕費など老朽化によるコストを考えると抜本的な対策が必要な時期ではないか。
1	1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記	

分科会提案

### 4 今後この事業に対する提案

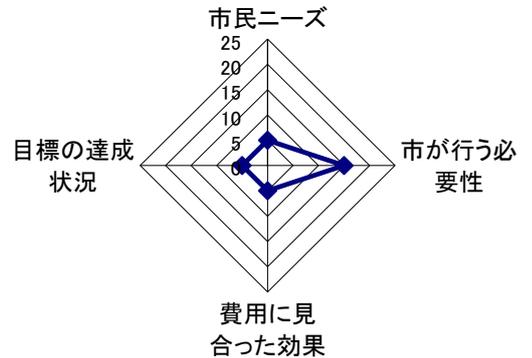
提案	理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)
2	5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する
<b>予算</b>	
1	3 拡充する 2 継続する 1 縮小する

### 2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
5	TX開通に伴い人の流れも変動し、利用率25%の現状であり市民ニーズからすれば低い。
15	駅前の環境を考えた場合、駐車場は必要であるがこのままでよいとは思わない。
5	毎年400万円の赤字運営となっておりほとんどが委託の経費であり、25%の利用率では、費用にあった効果はない。
5	老朽化した建物の維持管理費や利用率等を考え、対応策を検討すべき。

※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

分科会レーダーチャート



### 課題と反省

平場の駐車場を作るとすれば、規模等や場所の選定も必要になる。また、放置自転車の対応も課題である。

# 平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート ②

分科会名	文教福祉分科会
------	---------

NO.	予算科目	事業名
5	一般会計	敬老会開催事業

### 1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別評価数
<b>(1) 市民ニーズ</b> <b>評価の視点</b> 事業対象者から見た視点を ご記入ください。 ※対象者: 70歳以上の市民 (H26年度: 7,716人, 出席者898人)	①きわめてニーズが高い(25点)	
	②ニーズが高い(20点)	
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	4
	⑤ニーズが低い(5点)	2
	⑥ニーズがない(0点)	
<b>(2) 市が行う必要性</b> <b>評価の視点</b> 市が行うのかどうかをご記 入ください。 ※対象者: 70歳以上の市民	①きわめて必要性が高い(25点)	
	②必要性が高い(20点)	1
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	2
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	4
	⑤必要性が低い(5点)	
	⑥必要性がない(0点)	
<b>(3) 費用に見合った効果</b> <b>評価の視点</b> 会場費、バス代、アトラク ション代は妥当かどうかを踏 まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点)	
	②効果的である(20点)	
	③どちらかといえば効果的である(15点)	2
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	5
	⑤効果が少ない(5点)	
	⑥効果がない(0点)	
<b>(4) 目標の達成状況</b> <b>評価の視点</b> 対象者に「敬老」の意図が 伝わっているかを考えてご記 入ください。	①きわめて成果がある(25点)	
	②成果がある(20点)	2
	③どちらかといえば成果がある(15点)	3
	④どちらかといえば成果がない(10点)	2
	⑤成果が少ない(5点)	
	⑥成果がない(0点)	

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

### 2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
10	出席率が約1割となっており、ニ ーズは高くない。
10	事業主体を地域ごとにし、それ ぞれで開催ができるかどうかを検 討する必要がある。
10	費用に対して出席率が伸びてい ない。固定費がかかりすぎる。
15	敬老会の実施により、どちらか といえば敬老の意図は伝わっている。

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

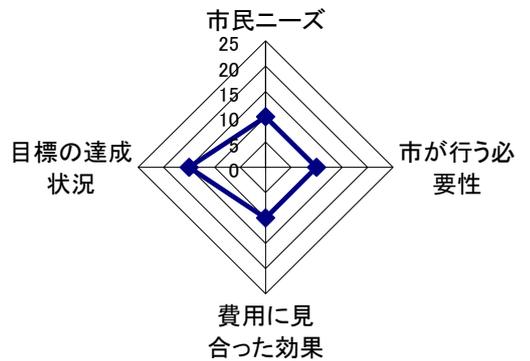
※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

分科会レーダーチャート

### 3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
3	6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である
1	1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記

分科会提案



### 4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地, 予算に関する実情等も含む)
2	5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する
1	3 拡充する 2 継続する 1 縮小する

#### 課題と反省

- ・実行委員会と「ばたか」の方々のアンケートをとったが、その他の対象者の声を反映させる。
- ・参加者に対するアンケートの実施も必要。

# 平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート ②

分科会名	文教福祉分科会
------	---------

NO.	予算科目	事業名
6	一般会計	敬老祝金支給事業

### 1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別評価数
<b>(1) 市民ニーズ</b> <b>評価の視点</b> 市民全体から見た視点をご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点)	
	②ニーズが高い(20点)	1
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	2
	⑤ニーズが低い(5点)	3
	⑥ニーズがない(0点)	
<b>(2) 市が行う必要性</b> <b>評価の視点</b> 民間等が行えるかどうかをご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点)	
	②必要性が高い(20点)	2
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	4
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	1
	⑤必要性が低い(5点)	
	⑥必要性がない(0点)	
<b>(3) 費用に見合った効果</b> <b>評価の視点</b> 祝い金が老人の活力と「敬老祝福」に繋がっているかを踏まえてご記入ください。	①きわめて効果的である(25点)	1
	②効果的である(20点)	1
	③どちらかといえば効果的である(15点)	3
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	1
	⑤効果が少ない(5点)	1
	⑥効果がない(0点)	
<b>(4) 目標の達成状況</b> <b>評価の視点</b> 受け取り率と満足度をふまえてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点)	1
	②成果がある(20点)	2
	③どちらかといえば成果がある(15点)	3
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1
	⑤成果が少ない(5点)	
	⑥成果がない(0点)	

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

### 2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
5	市民全体から見ると対象者は少なくニーズは低い。
15	民間で行うのは難しいと考える。
15	少なからず効果的であると考えますが、近隣の市町村と比較しても金額や今後増加するであろう対象人数に支払う金額が妥当であるか考えるべきである。
15	受け取り率は100%であるが、満足度は不明である。

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

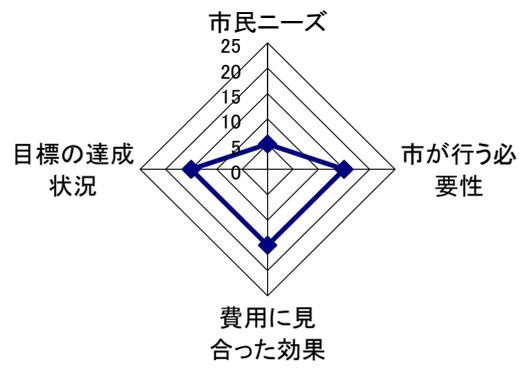
※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

分科会レーダーチャート

### 3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
3	受け取り率は100%であるが満足度は不明であり、市民全体から見たニーズにもバラツキがみられる。行政で行う必要性はあるが、今後の予算のあり方も含めて検討が必要。
1	

分科会提案



### 4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)
2	・市民全体から見ると対象者は少なくニーズは低い。 ・現在288万円が敬老祝い金として出ているが、今後77歳の方の増加が予想される。財政状況も更に厳しくなるなか、限られた財源の使い方として現金を配る事での祝いの形が正しいのかも考えるべき。 ・平均寿命男性80歳、女性86歳という状況を考えて場合、77歳の祝い金の廃止の検討。
1	

### 課題と反省

この事業が認知されておらず、対象者に敬老の意図が伝わっているのか不明である。

平成27年決算予算特別委員会 事業評価シート

②

分科会名	文教福祉分科会
------	---------

NO.	予算科目	事業名
7	一般会計	病後児保育室委託事業

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	会派別評価数
(1)市民ニーズ <b>評価の視点</b> 市民全体で見て、病後児保育を必要とするかどうかの視点でご記入ください。	①きわめてニーズが高い(25点)	1
	②ニーズが高い(20点)	1
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	
	⑤ニーズが低い(5点)	3
	⑥ニーズがない(0点)	
(2)市が行う必要性 <b>評価の視点</b> 民間等が行えるかどうかをご記入ください。	①きわめて必要性が高い(25点)	1
	②必要性が高い(20点)	2
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	3
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	
	⑤必要性が低い(5点)	1
	⑥必要性がない(0点)	
(3)費用に見合った効果 <b>評価の視点</b> 利用件数(延べ人数)でなく、利用者数から見た視点をご記入ください。 ※利用者数:約13人/年	①きわめて効果的である(25点)	
	②効果的である(20点)	
	③どちらかといえば効果的である(15点)	2
	④どちらかといえば効果的でない(10点)	1
	⑤効果が少ない(5点)	2
	⑥効果がない(0点)	2
(4)目標の達成状況 <b>評価の視点</b> 子育て世代から必要とされているかどうかを踏まえてご記入ください。	①きわめて成果がある(25点)	
	②成果がある(20点)	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1
	⑤成果が少ない(5点)	4
	⑥成果がない(0点)	

※会派別評価数は、会派会(事前)評価による数そのまま転記したもの

分科会評価

2 分科会項目別評価

評価点	評価コメント(100字以内)
5	市のニーズ調査の結果においても、子育て世帯のアンケートによると54.6%が利用したいとは思わないとの回答であり、利用者も平成26年度91件とあるが実際は13名である。
15	看護師や保育士の確保も難しく、現状での民間での実施は難しい。
5	実際の利用者も平成26年度91件とあるが、実際は13名である事を考えると費用対効果は少ない。
5	ニーズ調査と費用対効果を踏まえ子育て世代からの必要性が多いとは考えづらい。

※評価点は人数を考慮して更に議論、集約したもの

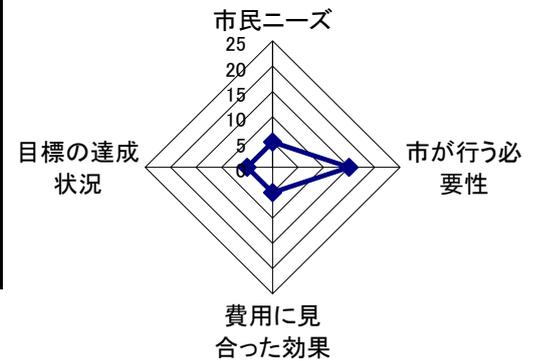
※評価点数はレーダーチャートへ反映されます

分科会レーダーチャート

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
3	6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である
1	1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記

分科会提案



4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関する実情等も含む)
5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する	・子育て世代のニーズに合わせ、病児・病後児保育室委託事業や体調不良児対応の事業の立ち上げをしたのち、当事業を廃止する。
1	
3 拡充する 2 継続する 1 縮小する	

課題と反省

・事業におけるニーズの見直し。